

## 文化財事業の概要

### 1 平成30年度実施事業

#### (1) 文化財関係

##### ア 内津文化財祭

内々神社が所蔵する県指定文化財の社殿や庭園等を公開し、市民が歴史を身近に感じ、文化財への愛護意識を育むため開催した。

開催日	5月6日(日)
場 所	内々神社
参加者数	1,000人

##### イ 文化財ボランティア育成

市内の貴重な史跡や文化財の保護・啓発を推進するため、文化財ボランティア活動を支援するとともに、文化財ボランティアを育成する養成講座を開催した。また、文化財ボランティアの資質向上のため、ステップアップ研修を開催した。

《養成講座》

開催日	【前期】6月15日(金)、22日(金)、29日(金)、7月6日(金) 【後期】9月14日(金)、21日(金)、28日(金)、10月5日(金)
参加者数	【前期】4人 【後期】5人

《ステップアップ研修》

開催日	8月3日(金)、10日(金)、10月12日(金)、 11月30日(金)、3月1日(金)
参加者数	延べ159人

##### ウ 文化財防火デー

貴重な史跡や文化財を保護・記録保存し、次世代へ継承するため、文化財防火デーに合わせ、防火訓練及び防火デー巡視を実施した。

《防火訓練》

実施日	1月24日(木)
実施場所	密蔵院

《防火デー巡視》

実施日	1月24日(木)、25日(金)、29日(火)
対象	市指定文化財所蔵16社寺等

## エ 「郷土誌かすがい」発行

郷土史等の調査研究の発表の場とするとともに、市民が郷土の歴史を知り、文化財への愛護意識を育むため発行した。

発行号	第77号
発行日	11月1日
部数	2,500部

## オ 郷土芸能出前講座

地域の郷土芸能保存団体を小学校に招き、郷土芸能を紹介・披露してもらい、団体の指導により児童が練習や発表を行うことで、地域の民俗芸能の担い手を育成するため、郷土芸能出前講座を実施した。

開催校	篠木小学校
開催日	11月30日(金)、12月7日(金)、14日(金)
参加児童数	3年生 109人
保存団体	小木田棒の手保存会 始め4団体

## カ 指定文化財・郷土芸能保存

市内の指定文化財や郷土芸能の保存・保護を図るため、環境整備や保存整備などに対し、補助金を交付した。

《補助実績》

史跡等環境整備事業補助	4団体
無形民俗文化財後継者育成補助	2団体
無形民俗文化財用具等修理・購入補助	2団体
建造物火災報知設備点検補助	4団体
郷土芸能（保存・伝承）補助	27団体
郷土芸能（用具の修理・購入）補助	8団体

## キ 文化財管理

市内の文化財の保存・保護のため、二子山古墳を始めとする史跡等の適切な管理を行った。

## (2) 民俗考古関係

### ア ハニワまつり

歴史的文化遺産である「下原古窯跡群」と「味美古墳群」を市民に啓発し、郷土への愛着心を醸成するため、市民参加によりハニワを制作・野焼きし、ふれあい緑道（ハニワ道）と二子山公園内にあるハニワの館に設置した。あわせて体験工房等を開催した。

開催日	10月28日(日) (雨天順延)
場所	二子山公園
参加者数	9,000人

### イ 民俗考古展示等

#### (1) 民俗考古展示室

郷土の歴史や文化財の保護・啓発を推進するため、民俗・考古資料の常設展示に加え、体験・企画展示室において企画展を開催した。(平成30年度見学者数 6,157人)

また、森浩一氏より寄贈された図書及び資料を「森浩一文庫」で一般に公開した。

民俗展示室	昔の農具や生活用具等を展示
考古展示室	市内遺跡から出土した遺物を展示
体験・企画展示室	企画展(※表1)を開催

(表1)

企画展名	期 間	見学者数(人)
企画展「端午の節句と夏越の祓〜ケガレとハラエ〜」	4月10日(火)〜6月3日(日)	676
企画展「春日井古墳散歩」	6月9日(土)〜7月15日(日)	490
企画展「なぜ?なに?歴史の謎を解き明かせ!〜発掘調査編〜」	7月21日(土)〜8月26日(日)	460
企画展「大埴輪展 in 春日井」	9月18日(火)〜11月25日(日)	748
企画展「運搬の道具いろいろ」	12月8日(土)〜2月3日(日)	1,337
収蔵品展「ひなまつり」	2月16日(土)〜3月31日(日)	1,300

#### (2) 親子体験教室

古代の技術や昔ながらの遊びの体験等を通じ、歴史や民俗への関心を持つ機会とするため、親子体験教室を実施した。

教室名	開催日	参加者数(人)
スポンジを使ってこいのぼりをつくろう	4月29日(祝)	27
お寺で座禅！文化財どきどき体験！	7月25日(水)	39
勾玉をつくろう(文化財ボランティア協働事業) (午後は台風接近により中止)	7月28日(土)	38
昔の暮らし☆体験くらぶ(文化財ボランティア協働事業)	8月25日(土)	22
紙バンドでかごを作ろう	12月22日(土)	35
クラフトバンドでおひなさまリースをつくろう	2月9日(土)	30

(3) 春日井特別講座

郷土の歴史について関心を持つ機会とするため講座を実施した。

テーマ「須恵器生産と尾張型埴輪を巡る考古学」

- ・味美古墳群出土尾張型埴輪を比較する～規格と製作技術を巡る諸問題～
- ・志賀公園遺跡の初期須恵器と尾張の須恵器生産をめぐる諸問題
- ・古墳時代尾張の須恵器の成立と展開

開催日	11月3日(祝)、10日(土)
参加者数	延べ237人

(4) 古代史講座

地域の歴史や文化財に対する市民の関心を深めることを目的に開催した。

テーマ「古墳文化と土木技術を巡る考古学」

- ・前期古墳からみた古墳文化伝播の様相～篠木第2号墳を事例として～
- ・船山第1号墳～三河地域最大級の前方後円墳の発掘調査成果～
- ・愛知県における古墳構築法の地域性

開催日	1月19日(土)、26日(土)、2月2日(土)
参加者数	延べ285人

(5) 史跡見学

二子山古墳を始め市内の史跡見学や発掘調査について現地説明会を実施した。

件数	4件
人数	484人

(6) 出前授業

小学6年生の社会科の授業と連動し、郷土の歴史を学ぶ機会とするため出前授業を実施した。

学校数	9校
人数	646人

(7) 四つ建て民家・民俗展示室の見学

小学3年生の社会科の授業と連動し、四つ建て民家や民俗展示室において昔の生活用具等の展示解説を実施した。解説は文化財ボランティアが実施した。

学校数	22校
人数	2,054人

(8) 森文庫リニューアルオープン講演

森浩一氏の遺族から寄贈を受けた書籍の登録・配架が終了し、森浩一文庫を再整備したこと、また、森浩一氏生誕90年を迎えることから記念講演等を開催した。

講演名	開催日	参加者数(人)
記念講演「森先生の発想と挑戦」	7月14日(土)	57
特別講演「旅の達人と地域学」 「森先生と地域学～東海学の誕生裏話～」	8月5日(日)	85

## ウ 埋蔵文化財調査

(1) 国庫補助による埋蔵文化財の試掘・確認調査及び「概要報告書」の発行

区画整理事業（熊野桜佐地区）や個人住宅等各種開発行為と埋蔵文化財についての事前調整を図るための試掘・確認調査等を行った。また、調査の概要をまとめた概要報告書を発行した。

試掘調査	西尾町、上条町1丁目・3丁目、熊野町、黒鉾町
確認調査	堀ノ内表遺跡、松河戸遺跡、神領出口遺跡、桜佐下五反田遺跡、神領上障子口遺跡、桜佐上五反田遺跡
本発掘調査	神領出口遺跡

(2) 国庫補助による埋蔵文化財資料の整理及び保存並びに活用

白山神社古墳出土遺物の再整理を実施するとともに、歴史講座、企画展を実施し埋蔵文化財の活用、普及啓発を図った。

白山神社古墳出土遺物再整理
特別講座「須恵器生産と尾張型埴輪を巡る考古学」の実施
企画展「大埴輪展 in 春日井」の開催
解説パンフレット「白山神社古墳-「味美」への定着と古墳群の展開-」の作製
体験教室「古墳消しゴムをつくろう」の開催

## エ 民俗考古調査

(1) 発掘調査及び調査資料の整理

区画整理事業に伴い、本発掘調査を実施した。また、発掘調査で出土した遺物や調査記録を整理し、高座山第1号墳の発掘調査成果を報告書として発行した。

本発掘調査	桜佐下五反田遺跡
-------	----------

(2) 資料の収集、整理、保存

かつて日常で使われていた、衣食住及び生業に関する資料を中心に調査・収集するとともに、資料の再整理・処分を行い、記録した。

## 2 令和元年度事業計画

### (1) 文化財関係

#### ア 内津文化財祭

内々神社が所蔵する県指定文化財の社殿や庭園等を公開し、市民が歴史を身近に感じ、文化財への愛護意識を育む機会とするため開催する。

開催日	5月12日(日)
場所	内々神社

#### イ 文化財ボランティア育成

市内の貴重な史跡や文化財の保護・啓発を推進するため、文化財ボランティア活動を支援するとともに、文化財ボランティアを育成する養成講座を開催する。また、文化財ボランティアの資質向上のため、ステップアップ研修を開催する。

養成講座	前期、後期の2回開催
ステップアップ研修	年間5回開催

#### ウ 文化財防火デー

貴重な史跡や文化財を保護・記録保存し、次世代へ継承するため、文化財防火デーに合わせ、文化財を火災等の災害から守る訓練等を実施する。

#### エ 「郷土誌かすがい」発行

郷土史等の調査研究の発表の場とするとともに、市民が郷土の歴史を知り、文化財への愛護意識を育むため発行する。(年1回発行)

#### オ 郷土芸能出前講座

郷土芸能保存団体が小学校において郷土芸能を披露し、小学生が体験・練習・発表することで、地域に伝わる郷土芸能を知り、郷土を愛する気持ちを高めるため、郷土芸能出前講座を実施する。

開催校	坂下小学校
開催日	未定(3回・11月頃予定)
参加児童数	3年生 70人(4月1日現在)
保存団体	神屋町棒の手保存会 始め4団体

#### カ 指定文化財・郷土芸能保存

市内の指定文化財や郷土芸能の保存・保護を図るため、環境整備や保存整備などに対し、補助金を交付する。

#### キ 文化財管理

市内の文化財の保存・保護のため、二子山古墳を始めとする史跡等の適切な管理を行う。

## (2) 民俗考古関係

### ア ハニワまつり

歴史的文化遺産である「下原古窯跡群」と「味美古墳群」を市民に啓発し、郷土への愛着心を醸成するため、市民参加によりハニワを制作・野焼きし、ふれあい緑道（ハニワ道）と二子山公園内にあるハニワの館に設置する。あわせて体験工房等を開催する。

開催日	10月26日（土）
場 所	二子山公園

### イ 民俗考古展示等

郷土の歴史や文化財の保護・啓発を推進するため、考古・民俗資料を公開するとともに、親子体験教室等の講座を開催する。

### ウ 埋蔵文化財調査

#### (1) 国庫補助による埋蔵文化財の試掘・確認調査及び「概要報告書」の発行

区画整理事業（熊野桜佐地区）や個人住宅等各種開発行為と埋蔵文化財についての事前調整を図るための試掘・確認調査を行う。また、調査の概要をまとめ、報告書として発行する。

#### (2) 国庫補助による埋蔵文化財資料の整理及び保存並びに活用

過去に実施した発掘調査における埋蔵文化財資料を再整理するとともに、それを活用した歴史講座、企画展示等を実施する。

### エ 民俗考古調査

#### (1) 発掘調査及び調査資料の整理

区画整理事業等で破壊されるおそれのある埋蔵文化財について発掘調査を実施し、出土遺物・調査記録を整理する。また、調査成果をまとめた神領第1号墳発掘調査報告書を発行する。

#### (2) 資料の収集、整理、保存

年中行事等について聞き取り調査を実施し、調査記録を整理する。また、衣食住及び生業に関する民俗資料を中心に収集し、整理・記録する。